

会場のご案内

●電車とバスの場合

1. 〈新宿方面から〉
小田急線 新宿駅→新松田駅 急行約90分
〈小田原方面から〉
小田急線 小田原駅→新松田駅 急行約15分
2. 富士急行湘南バス 西丹沢方面行き
新松田駅→中川温泉入口 約60分
3. 中川温泉入口下車 温泉方面へ徒歩8分

●お車の場合

1. 〈名古屋方面から〉
東名高速道路「御殿場インター」でおり国道246号線
を東京方面へ向かい清水橋交差点を左折
〈東京方面から〉
東名高速道路「大井松田インター」でおり国道246号
線を御殿場方面へ向かい清水橋交差点を右折
2. 県道76号を中川温泉方面へ約15分
(途中、右側に道の駅山北あり)
3. 中川温泉入口ゲートをくぐり急な坂道を下って橋を渡っ
た左側

※当日は近隣の『魚山亭やまぶき』の広間を
お借りしていますので、駐車場ならびに更衣
室としてお使いください。
(利用時間：午前10時～午後4時まで)

◇日本と世界のみたま祭りの会 のご案内◇

◆日時 平成三十年六月十日(日)
午後一時～二時

◆会場 神道日垣の庭 神庭

住所 〒二五八-〇二〇一

電話 〇四六五-七八-三六五九
神奈川県足柄上郡山北町中川五九九

◆会費 一〇、〇〇〇円

◆申込 別紙参加申込書にて五月末日迄にお申込みください
(心魂参加も可能です)

※受付は正午より社務所にて行います

※会費は同封の振込用紙にて5月末日までにお振込
くださいますようお願い申し上げます

日本と世界のみたま祭りの会 (神道日垣の庭)

本 部 〒258-0201 神奈川県足柄上郡山北町中川599
事務局 〒175-0094 東京都板橋区成増4-3-34
TEL 03-3946-4668 FAX 03-3975-3927

第二十四回

日本と世界の

みたま

まつり

平成三十年六月十日(日)

於 神道日垣の庭 神庭



第二十四回 日本と世界のみたま祀りご案内

地球は心です

人も心！

だから一つに結びます

そんな言葉の書かれた色紙を、宮主の数ある作品のなかから見つけました。

宮主は、人と神と地球の在り方・眞實を求めて神道の道に入り、何百回、何千回、何万回と祭祀を繰り返してきました。

現し世と幽り世の世界、現し世人と幽り世人、人と神との間に立ち、どれほどの祭祀をお仕えたことでしょう。

十九歳で出征し、生と死の狭間を往き来しながら生きながらえて、ようやく日本に辿り着き日本の大地に足をつけた瞬間、これでもう大丈夫だ！と感じたと何度も書物に書き残しているように、帰国して生きる気力を取り戻した宮主は、靖国神社で行われた神道の勉強会に参加し、そこで神道の道に進むことを決心しました。

喜多さんと出会ったのも、その頃でした。

あれから七十年。

二人三脚で日垣の庭を作り上げ共に歩んできた同士であり、最愛のパートナーであった妻、喜多さんを突然失いました。

他人のための祭祀、葬儀、みたままつりを幾度もお仕えしてきたいわば祭祀のエキスパートであるはずの宮主が、いざ、自らの相棒のみたままつりをするとなったとき、呆然としました。

死んでしまった人には、どんなに会いたくても会えない。此の世と彼の世は、現実として往き来できないということの辛さと、寂しさと、本当の意味でのみたままつりの難しさに、初めて気が付きました。

身をもって実感した宮主は、神前で声を上げて泣きました。そして、残っていた微かな力をふりしぼって、前を向きました。

生きている者たちの思いと、心からの祈りが、亡くなった人々やご先祖様たちへの、最大で唯一の『みたま祀り』になるのだ。

いまこそ、吾れら一人一人が、亡くなった人々のみたまたちへ祈りを捧げようではないか。命ある限り、こちらの世界から祈ろうではないか！

そう叫びました。

そんな宮主の心からの熱い思いを、われらが心の一つにして共に叶えようではありませんか。地球と人と心の一つに結ぼうではありませんか！

皆様のご賛同・ご参加をお待ちしております。

平成三十年四月嘉日

神道日垣の庭

日本と世界のみたま祀りの会